

APNet ニュースレター

—Advanced Power Network—

Vol.134 (2020年7月号)

発行

次世代電力ネットワーク研究会



一般財団法人 エネルギー総合工学研究所

<今月の注目点>

- ・海外ニュースは、前半3記事をセキュリティ関連としました。テキサス州では州として監視をどこまで踏み込むべきか議論をしています。そして電力系統を構成する部品をどの国から調達するのが良いか、サイバーセキュリティのための研究所をカード会社と組んで設立した電力関連企業の動きを取り上げました。続いて自動車会社による VPP や V2G への取り組みがイギリスとイタリアで行なわれている記事、配電系統への投資抑制に貢献するモバイルバッテリーの紹介です。
- ・国内ニュースは、総合資源エネルギー調査会電力・ガス事業分科会電力・ガス基本政策小委員会から、災害など緊急時への対応の審議、令和元年度台風15号における鉄塔及び電柱の損壊事故調査検討ワーキンググループの報告、容量市場準備状況を記しています。

1	海外ニュース	- 1 -
1.1	テキサス州公益事業委員会、サイバーセキュリティ監視権限の詰めに入る	- 1 -
1.2	トランプの大統領命令はスマートグリッドを遅らせるか	- 2 -
1.3	Enel とマスターカード、イスラエルにサイバーセキュリティ研究所新設を発表	- 4 -
1.4	テスラが VPP のプレイヤーとなるために英国で発電事業者ライセンスを申請	- 5 -
1.5	エンジーとフィアット・クライスラーが世界最大の V2G 設備に取組む	- 6 -
1.6	米国／メキシコ国境の野外病院にクリーン電力利用のマイクログリッドを併設	- 7 -
1.7	Northvolt と Vattenfall が配電増強を繰り延べるモバイルバッテリーを発売	- 8 -
2	国内ニュース	- 11 -
2.1	今月の電力システムの制度改革の動向 Watching	- 11 -
2.2	九州電力、電気バスで電力需給のバランス調整	- 13 -
3	事務局後記：The Current War	- 14 -